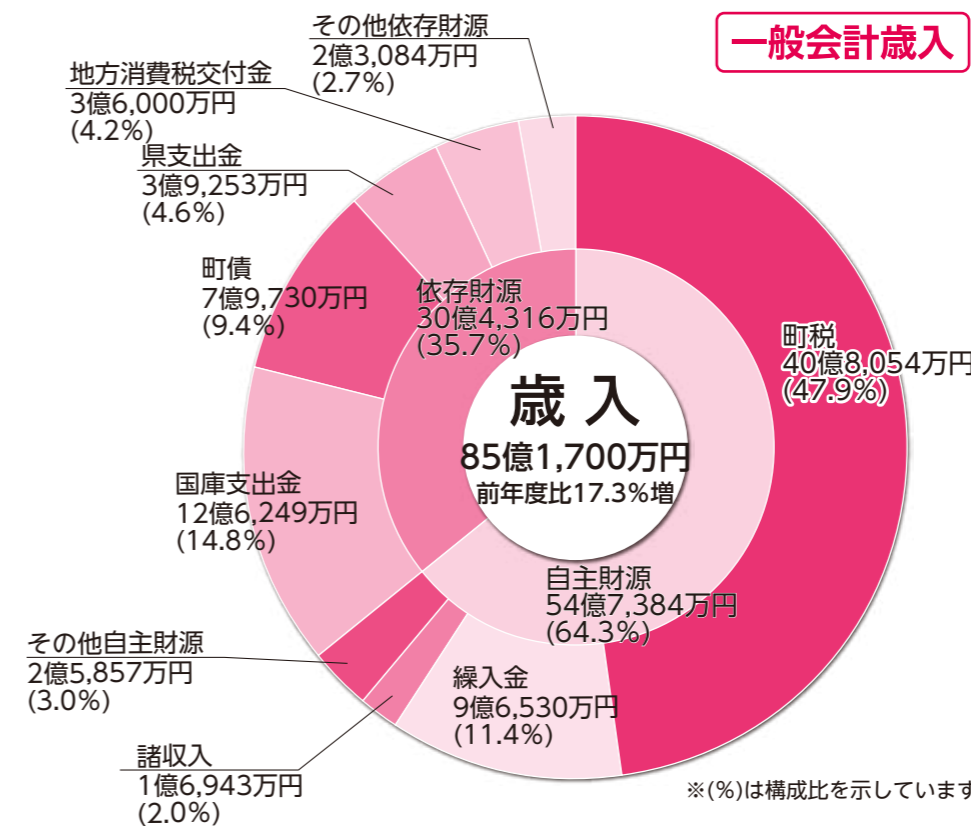


令和6年度 予算の概要

町議会3月定例会で令和6年度当初予算が可決されました。一般会計が85億1700万円、特別会計が24億6290万円、企業会計が23億9828万円、総額は133億7818万円となり、前年度から12億7873万円の増となりました。令和6年度当初予算の概要についてお知らせします。



自主財源の割合 9.1ポイント減

歳入は町民のみさんに負担していただく税金や使用料などの自主財源と、国や県からの補助金と地方交付税などの依存財源に分けられ、自主財源の比率が高いほど、自主的な財政運営ができることとなります。

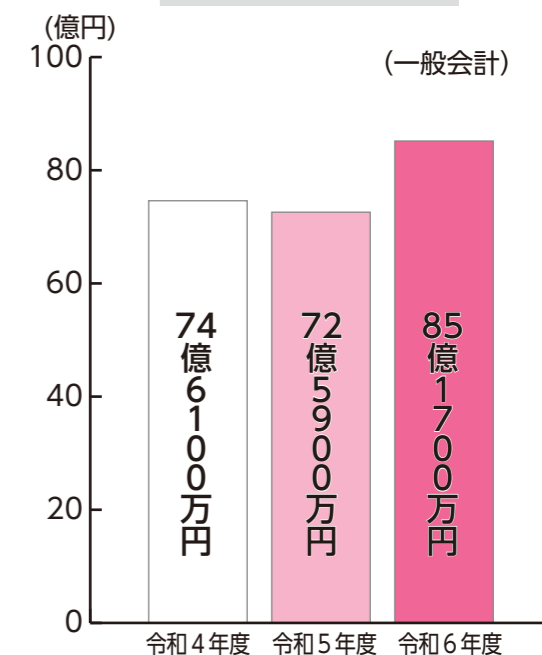
当町の割合は、自主財源が全体の64.3%を占めており、昨年度から9.1ポイント減少しています。自主財源の中で最も多いのは、町民税や固定資産税などの町税が40億8,054万円、次いで一般家庭における貯蓄に相当する基金からの繰入金が9億6,530万円となりました。

依存財源は、国庫支出金が12億6,249万円と最も多く、次いで町債が7億9,730万円となりました。

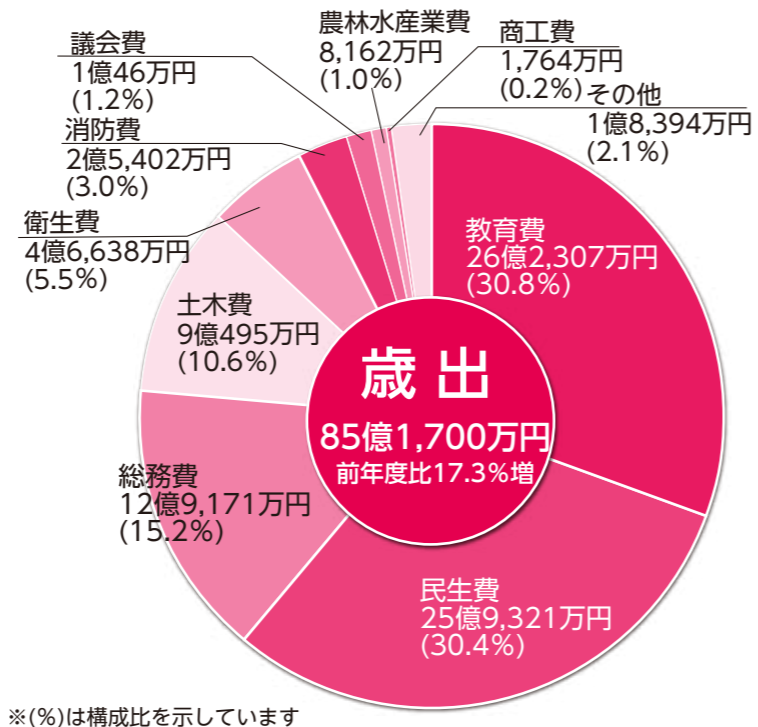
令和6年度の会計別当初予算額と対前年比

会計区分	当初予算額(万円)	前年度対比率(%)	
一般会計	851,700	17.3	
特別会計	国民健康保険特別会計	138,770	4.0
	事業勘定	123,290	3.8
	診療施設勘定	15,480	5.6
	介護保険特別会計	86,230	1.1
	後期高齢者医療特別会計	21,290	13.2
	小計	246,290	△24.2
合計(一般会計+特別会計)	1,097,990	4.5	
企業会計	水道事業会計	52,514	16.9
	水道事業費用	36,506	0.9
	資本的支出	16,008	83.3
	下水道事業会計	187,314	△7.1
下水道事業費用	98,876	0.7	
資本的支出	88,438	△14.6	

当初予算額の推移



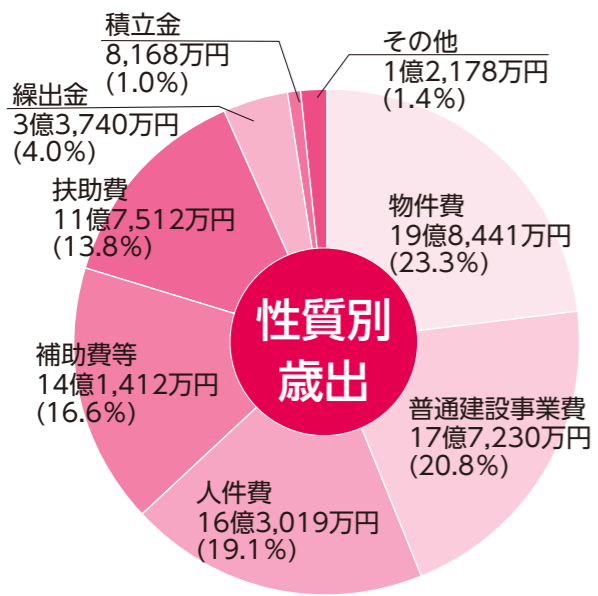
目的別歳出(経費を行政目的に応じて分類)



※(%)は構成比を示しています

一般会計歳出

性質別歳出(経費を経済的性質に応じて分類)



※決算統計の考え方にに基づき性質の区分を一部移動させて計上しています。

目的別構成比は、教育費、民生費、総務費の順

歳出を目的別に分類すると、小・中学校、社会教育などに使う教育費が最も多く、26億2,307万円と歳出全体の30.8%を占めています。次に、障害がある方や高齢者への福祉、子育て支援などに使う民生費が25億9,321万円、戸籍や選挙、庁舎などにおける総合的な管理事務に使う総務費が12億9,171万円と続きます。歳出を性質別に分類すると物件費や普通建設事業費及び人件費が歳出全体の63.2%を占めています。また、前年度の地区公民館長寿命化改修事業における町債借入れに伴い、元利償還金などの公債費が前年度から108.1%増、普通建設事業費が62.9%増となっています。

歳出額を町民1人当たりで換算すると、1人当たり年間54万4,078円(※R6.3.1人口15,654人で計算)の経費で町政を運営することとなります。

一人当たり年間 54万4,078円

